



釜石ローカルベンチャーコミュニティ参加者の着任について

総務企画部オープンシティ推進室

釜石ローカルベンチャーコミュニティ参加者として、釜石市内で起業や新規ビジネス展開を志望する都市部の若者ら6名を総務省の「地域おこし協力隊」制度を活用し、新たに受入れ、地域内外の企業や人材との連携及び地域資源の活用によって、当市の産業振興や市内への定住促進を目指します。

※「地域おこし協力隊」制度の概要

- ・都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を移動し、生活の拠点を移した者を、地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として委嘱。隊員は、一定期間、地域に居住して、地域ブランドや地場製品の開発・販売、PR等の地域おこしの支援や住民の生活支援などの地域協力活動に従事しながら、その地域への定住・定着を図る。

■釜石ローカルベンチャーコミュニティの概要

- ・釜石で起業や新たなビジネス、働き方にチャレンジする人材を募集し、地域内外のメンター陣による伴走型支援により事業成長までをサポートする取組。
- ・三陸のオープンシティ・釜石の地域資源を価値に変え、地域に新たな経済や暮らしの豊かさをもたらす新たなイノベーションを生み出す個人、企業、地域が協働し、ローカルベンチャーを育成・排出するプラットフォーム。

■釜石ローカルベンチャーコミュニティ参加者

No.	氏名	出身地	活動内容	連携・協力先
1	細江 絵梨	東京都	観光レジャー、ツーリズム等	一般社団法人根浜 MIND
2	古賀 郁美	東京都	6次産業化、漁業等	釜石六次化研究会
3	福田 学	東京都	観光レジャー、交通事業等	—
4	吉野 和也	東京都	一次産業、ツーリズム等	—
5	深澤 鮎美	茨城県	子育て、自然保育、食育等	—
6	石橋 孝太郎	東京都	若者ビジネス支援、教育等	—

※起業型地域おこし協力隊として釜石市が委嘱し、個人事業主として活動します。

■活動期間

- ・原則として平成29年6月1日から最大3年間（1年更新） ※参加者によって着任日が異なります。



■活動内容

- ・年間 200 万円の起業支援金（報酬）の交付を受けながら、地域内外の関係者と連携し、地域資源の活用に繋げながら、地域への新たな産業創出に向けて取り組みます。
- ・地域内外のメンター陣による伴走支援や専門家、関係機関等のサポートを受けながら、起業や新規ビジネスの創出に向けて取り組みます。

■備考

- ・6月20日（火）9時から釜石市役所市長室において、6名への委嘱状交付式を開催します。
- ・本取組は、全国10自治体で構成する移住・起業支援プラットフォーム「ローカルベンチャー推進協議会」（平成28年9月発足／事務局：NPO法人ETIC.）の活動の一環として実施しています。